

令和7年度 第4学年授業改善推進プラン

台東区立田原小学校

1 児童の状況及び実態を踏まえた課題

国語科	<ul style="list-style-type: none"> ・主語と述語の関係やローマ字を身に付けること。 ・話や文章に含まれる情報を整理したり、理解したりすること。 ・課題に対して自分の考えをもち、自分の考えを明確にして文章を書くこと。
社会科	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県や八方位など、正しい知識・技能を身に付けること。 ・地図やグラフなどの資料を読み取ること。 ・社会的事象の様子や社会的事象の特色や意味などを理解すること。
算数科	<ul style="list-style-type: none"> ・図形、長さ、重さ、時間、かさなどについての知識・単位換算などの技能を身に付けること。 ・問題、表、図などから課題を正しく捉え、解決すること。 ・学習したことをもとに、自分の考えをもち、式や図を用いて、表現すること。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題設定し、解決方法を考え、知識や生活経験を活用し、課題を解決すること。 ・観察・実験、結果から考察し、汎用性のある結論をまとめること。

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語科	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の主語と述語の関係やローマ字を身に付ける。 ・話や文章に含まれる情報を整理したり、目的をもって読み取ったりすることを通して、理解する力を育てる。 ・課題に対して自分の考えをもち、伝えたいことを明確にし、相手に伝わる文章を書く力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング学習を通して、ローマ字入力をする機会を計画的に設ける。 ・本文に線を引き、根拠となる部分を可視化する活動を取り入れる。 ・個人で情報を整理した後、グループ活動を取り入れ、情報を整理したり、話し合ったりする。 ・小論文の書き方の手引きを活用し、書く材料の集め方、小論文の型の提示、原稿用紙の書き方の定着を図る。 ・付箋や思考ツールを活用して構成メモを作成する習慣を付け、構成メモをもとに文章を書けるようにする。

<p>社 会 科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県や八方位など、正しい知識・技能を身に付ける。 ・地図やグラフなどの資料を読み取る力を育てる。 ・社会的事象の様子や社会的事象の特色や意味などを理解し、課題意識をもって学習に取り組む力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・暗記的に捉えるのではなく、背景やつながりを理解できるようにするために、地図や模型、ICTを活用して視覚的な理解につなげる。 ・地図、グラフ、表、写真などの資料の種類ごとに特徴や読み方のポイントを説明する。 ・何を読み取る必要があるのかを確認してから読み取る活動に入る。 ・グループで資料を読み合う活動を取り入れ、気付いたことや疑問点を話し合う。 ・導入を工夫し、「なぜこの事象が生まれたのか？」という問いを児童から出させるようにする。そこから児童が自ら学習計画を立てられるようにする。
<p>算 数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図形、長さ、重さ、時間、かさなどについての知識・単位換算などの技能を身に付ける。 ・問題、表、図などから課題を正しく捉え、解決する力を育てる。 ・学習したことを基に、自分の考えをもち、式や図など算数的手法を用いて、表現する力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習や家庭学習の時間を使って、図形や単位についての復習を行う。 ・ドリルプラネット、eライブラリなどを活用し、習熟を図る。 ・式を立てる前に「何を求めるのか」を明確にし、既習の式や図を使って考えられるようにする。 ・生活に即した文章問題を使い、既習の知識を用いて問題を解決する活動を取り入れる。 ・同じ問題を式、図、言葉で表現し、それぞれのよさを考える。 ・どうしてその式や図になるのかをペアや全体で共有し、表現と意味をつなげる活動を取り入れる。
<p>理 科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題設定し、解決方法を考え、知識や生活経験を活用し、課題を解決する力を育てる。 ・観察・実験、結果から考察し、汎用性のある結論をまとめ、表現する力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入でその単元に関する活動を行い、その活動を通して疑問に思ったことをグループで話し合う活動を取り入れる。また、単元で学習したことを基にもっと解決したいことを考え、実験を行い、友達に説明する活動を取り入れることで学習の理解を深める。 ・単元の終末では、学習内容をノートや1人1台端末に、絵や図、表などを用いてまとめる活動を取り入れる。 ・理科の正しい用語を使ってまとめを行うようにする。